

平成30年度 早春展

# 石から生まれた仏たち

## 永青文庫の 東洋彫刻コレクション

2019年1月12日(土)～4月10日(水)

[開館時間] 10:00～16:30(入館は16:00まで)

[休館日] 毎週月曜日(但し1/14・2/11は開館し、1/15・2/12は休館)

[入館料] 一般:800円(700円)/シニア(70歳以上):600円(500円)/大学・高校生:400円

※( )内は10名以上の団体料金 ※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料

重要文化財「菩薩半跏思惟像」  
中国 北魏時代(6世紀前半)  
永青文庫蔵

細川コレクション



# 永青文庫

EISEI BUNKO MUSEUM

永青文庫がアジアのさまざまな仏像を所蔵していることは、あまり知られていないかもしれません。当館の設立者である細川護立(細川家16代・1883~1970)は東洋美術に広く関心を持ち、中国考古や陶磁器ばかりではなく、中国の石仏・金銅仏、インドや東南アジアの彫刻をもコレクションに加えました。とりわけ北魏から唐時代におよぶ中国彫刻は、近代日本においていち早く中国美術を紹介・蒐集した早崎稔吉(1874~1956)の旧蔵品が大半を占め、各時代の特徴を表した重要な像が多く含まれています。

このたび専門家の協力を得て、これら東洋彫刻コレクションの調査を行いました。本展では、調査の成果に基づき、「菩薩半跏思惟像」や「如来坐像」(いずれも重要文化財)をはじめとする中国彫刻、ほとんどが初公開となるインド彫刻を一挙に紹介し、あわせて個人蔵の貴重な中国金銅仏を特別に展示します。

昨今注目を集める日本の仏像の源流ともいえる、中国・インド彫刻。この展覧会で、ルーツを探ってみませんか。



重要文化財  
「如来坐像」  
中国唐時代(8世紀前半)  
永青文庫蔵



「道教三尊像」  
中国北魏時代  
永平年間(508~511年)  
永青文庫蔵



「タールー菩薩立像」  
インドパール時代(9~10世紀)  
永青文庫蔵(熊本県立美術館保管)



重要文化財  
「如来坐像」  
中国宋時代(元嘉14年(437年))  
永青文庫蔵



「双観音立像」  
中国北齊時代  
天保8年(557年) 個人蔵

### 記念講演会

## 永青文庫の中国石仏—早崎稔吉が将来した名品—

[日時] 2019年3月10日(日) 13:30~15:00

[講師] 石松日奈子氏(本展監修者、東京国立博物館客員研究員)

[会場] 肥後細川庭園 松聲閣(東京都文京区目白台1-1-22)

[定員] 40人(先着順)

[参加費] 1000円(友の会会員800円) ※当日、現金でお支払いください。

[申込方法] 1月19日(土)午前10:00より電話(03-3941-0850)にて先着順に受付

### 永青文庫所蔵古文書セミナー

永青文庫が所蔵する5万8千点に及ぶ歴史資料を題材に、専門家をお招きして2018年・2019年の2年にわたり古文書セミナーを開催。2019年の詳細は随時HP等でお知らせいたします。



[交通案内] ●JR目白駅(「目白駅前」バス停)・副都心線雑司が谷駅 出口3(「鬼子母神前」バス停)より、都営バス「白61 新宿駅西口」行きにて「目白台三丁目」下車徒歩5分  
●都電荒川線早稲田駅より徒歩10分  
●有楽町線江戸川橋駅(出口1a)より徒歩15分 ●東西線早稲田駅(出口3a)より徒歩15分  
[住所] 〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL:03-3941-0850 <http://www.eiseibunko.com/>

細川コレクション  
**永青文庫**  
EISEI BUNKO MUSEUM